

化学科

人材養成および教育研究上の目的

化学科は、化学の探求を通して社会の発展に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、新たな機能性物質の開発を目指す物質化学の分野及び分子レベルでの生命現象の解明を目指す生命化学の分野において、化学的現象の摂理や物質の機能性発現の原理を種々の観点から理解し、化学の知識と技術を実社会で活用し、21世紀に国内外で活躍できる人材を養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

化学科は人材養成・教育研究上の目的を達成するために、

1. 化学を学ぶために高等学校段階で習得しておくべき基礎学力を身につけている人
2. 自然界における化学的な現象に興味や関心を持っている人
3. 自ら問題を提起し、それを解決する能力を身につける意欲を持つ人

の入学を求めています。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

化学的現象の摂理や物質の機能性発現の原理を理解するために必要な化学全般にわたる知識および科学的思考力を身につけるために、化学科のカリキュラムは下記のような特色を持ちます。

1. 1年次で、科学全般にわたる基礎学力の向上と科学的思考力の養成を目指します。
2. 1～3年次で、実験科目と講義を密接に関連づけて化学に関する知識と技術の修得を目指します。
3. 化学コースでは、3年次で物質化学系と生命化学系に分かれ、それぞれの分野における専門性の深化を目指します。
4. ナノサイエンスコースでは、3年次で海外演習を行い、最先端の科学技術を英語で学ぶことにより国際性を身につけるとともに研究に対する意欲を喚起します。
5. 4年次で、学生に個別の卒業研究テーマを課すことにより、科学的手法による問題解決能力の養成をはかります。





❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

化学科ではその判定において、化学全般にわたる幅広い知識と科学的思考力およびそれらを実社会で活用する能力を特に重視する。これらの知識や能力の修得をもって、学位を授与します。

